

次期総合計画

市民発表会

と き：平成26年11月11日（火） 18時30分

と ころ：旭川市民文化会館 小ホール 旭川市7条通9丁目

提言組織：旭川市総合計画市民検討会議

次世代ワーキンググループ

職員ワーキンググループ

参加費無料
定員300名



申込み方法：下記の問い合わせ先に、電話・FAX又はEメールにて氏名、年齢、住所をお知らせください。

問い合わせ先：旭川市総合政策部総合計画課 TEL 25-9721 FAX 25-6515

Eメール sogokeikaku@city.asahikawa.hokkaido.jp

（一社）旭川ウェルビーイング・コンソーシアム TEL/FAX 26-0338

Eメール awbcsns2013@gmail.com

主催：旭川市 企画：（一社）旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

総合計画とは？

- 総合的かつ計画的に市政を運営するための計画で、市の計画の中で最上位の計画です。
- 次期総合計画は、現在の第7次総合計画が平成18年度から平成27年度までの10年間の計画のため、平成28年度からの計画となります。

社会や経済の変化に合わせた内容に

第7次総合計画が始まった平成18年度から現在までの間に、人口減少や少子高齢化が進んだほか、インターネット等の普及などにより、暮らしが大きく変化しました。また、防災や環境問題への関心が高まるとともに、地域での人と人との結び付きの重要性が再認識されています。

一方、経済面では、国による積極的な財政・金融政策が実施され、上川管内の有効求人倍率が上昇するなど、明るい兆しも見られますが、市の税収は減少傾向で、生活保護や福祉事業等の経費の支出が増加しています。また将来的に、老朽化した施設等の補修・建替え等も必要となっています。

こうした厳しい社会情勢に対応し、より一層魅力と活力にあふれるまちを築いていくために、市民や企業、各種団体等が連携して、まちづくりの目指す姿について議論し、次期総合計画の策定を進めています。

今年度の取組

これまで、次の提言組織による検討を行ってきました。
市民発表会では、それぞれの提言組織が次期総合計画策定に向けた提言を行います。

「旭川市総合計画市民検討会議」

公募委員10名を含む47名の市民提言組織です。5月から「福祉・子育て」「教育・文化」「安全・都市基盤」「産業・交流」の4つの分科会に分かれて検討を行ってきました。

「次世代ワーキンググループ」

小学生19名、中学生18名、高校生9名、計46名が夏休みの3日間を活用して「未来への夢」についての検討を行いました。小学生、中学生、高校生からの提言を大学生がまとめ、発表します。

「職員ワーキンググループ」

市役所の若手職員22名で構成するワーキンググループです。5月から市民検討会議にも参画しながら検討を行ってきました。

今後の旭川市のまちづくりの指針となる次期総合計画に向けた提言内容を市民の皆様の前で発表いたします。振るって御参加ください！！

※ 詳しくは、総合計画課ホームページを御覧ください。

旭川 総合計画

検索